

# ピムコ・ハイイールド・ファンド Bコース（為替ヘッジあり）

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第179期（決算日2019年2月20日） 第180期（決算日2019年3月20日） 第181期（決算日2019年4月22日）  
第182期（決算日2019年5月20日） 第183期（決算日2019年6月20日） 第184期（決算日2019年7月22日）

作成対象期間（2019年1月22日～2019年7月22日）

第184期末（2019年7月22日）	
基準価額	8,716円
純資産総額	1,614百万円
第179期～第184期	
騰落率	3.7%
分配金（税込み）合計	86円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「ピムコ・ハイイールド・ファンド Bコース（為替ヘッジあり）」は、2019年7月22日に第184期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、米国のハイイールド債に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

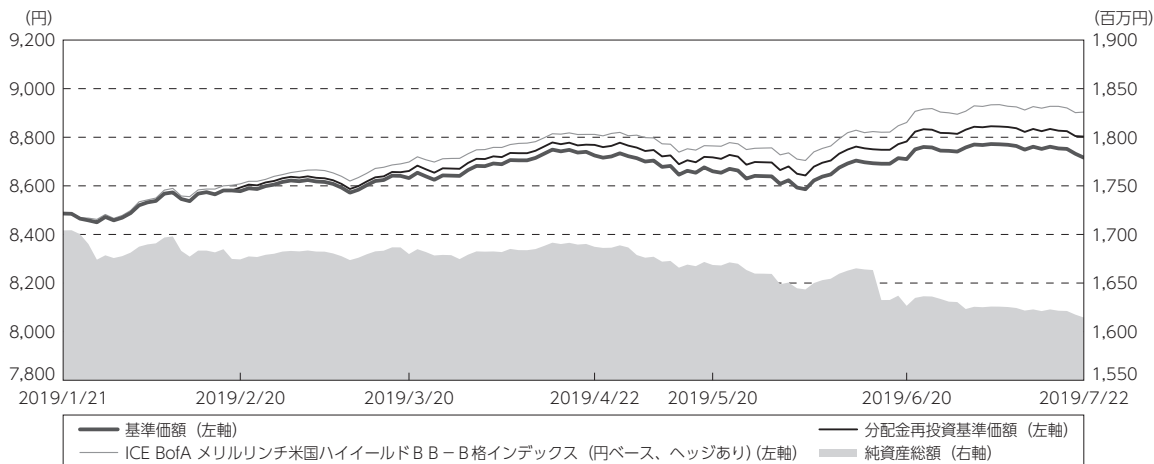
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2019年1月22日～2019年7月22日)



第179期首：8,486円

第184期末：8,716円 (既払分配金(税込み)：86円)

騰落率：3.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびICE BofA Merrill Lynch 米国ハイイールドBB-B格インデックス(円ベース、ヘッジあり)は、作成期首(2019年1月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) ICE BofA Merrill Lynch 米国ハイイールドBB-B格インデックス(円ベース、ヘッジあり)は当ファンドの参考指数です。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国のハイイールド債に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

#### <値上がり要因>

- ・米国ハイイールド社債への投資による利子収入を得たこと。
- ・期間中、各中央銀行が金融緩和スタンスへ転換したことなどを受けて、米国内債利回りが低下(債券価格は上昇)したこと。
- ・期間中、各中央銀行の金融緩和の可能性が高まり景気下支え効果が期待されるなか、米国ハイイールド社債のスプレッド(米国内債に対する上乗せ金利)が縮小したこと。

#### <値下がり要因>

- ・為替ヘッジに伴うコストが発生したこと。

1万口当たりの費用明細

（2019年1月22日～2019年7月22日）

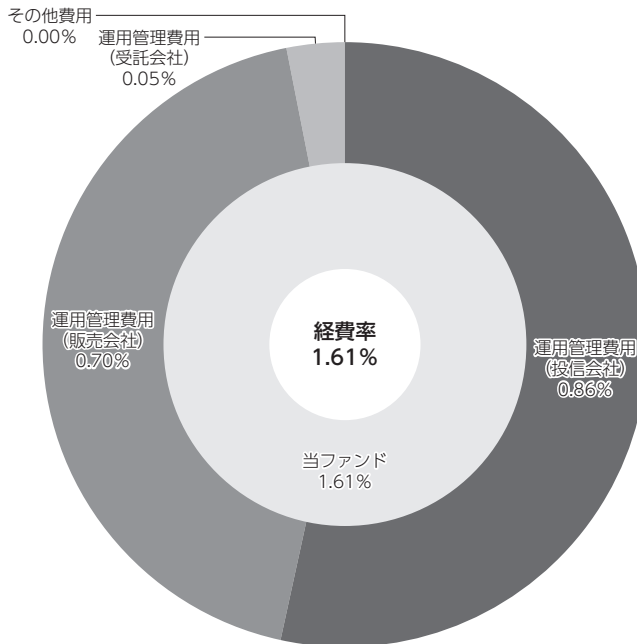
項 目	第179期～第184期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	70	0.808	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(37)	(0.431)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(30)	(0.350)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	70	0.810	
作成期間の平均基準価額は、8,639円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。  
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率 (投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額 (原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。) を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額 (1口当たり) を乗じた数で除した経費率 (年率) は1.61%です。



(単位:%)

経費率 (①+②)	1.61
①当ファンドの費用の比率	1.61
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券 (親投資信託を除く。) です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

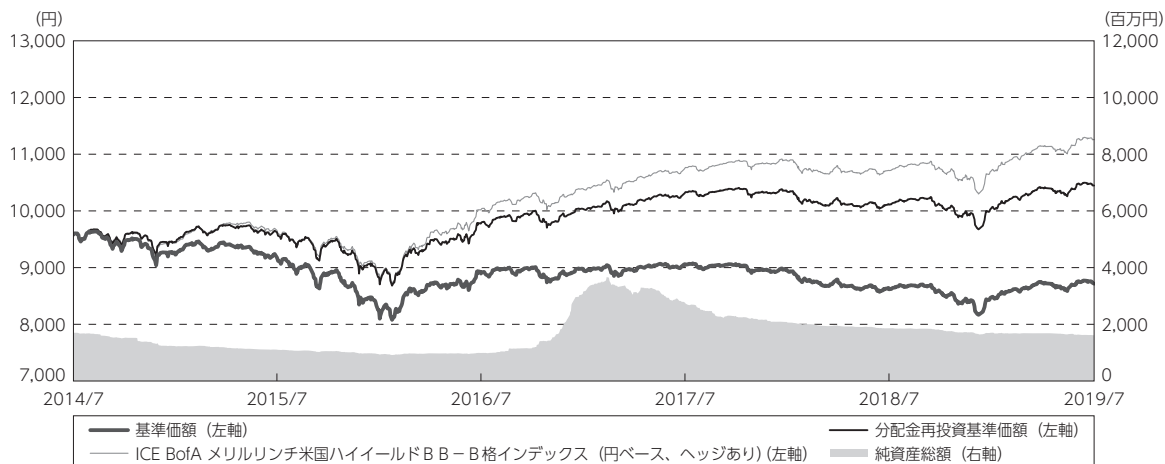
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年7月22日～2019年7月22日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額およびICE BofA Merrill Lynch米国ハイイールドBB-B格インデックス(円ベース、ヘッジあり)は、2014年7月22日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年7月22日 決算日	2015年7月21日 決算日	2016年7月20日 決算日	2017年7月20日 決算日	2018年7月20日 決算日	2019年7月22日 決算日
基準価額 (円)	9,580	9,178	8,895	9,046	8,617	8,716
期間分配金合計(税込み) (円)	—	443	409	333	248	184
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.4	1.6	5.6	△ 2.0	3.3
ICE BofA Merrill Lynch米国ハイイールドBB-B格インデックス (%) (円ベース、ヘッジあり)騰落率	—	0.8	3.8	7.3	△ 0.4	5.1
純資産総額 (百万円)	1,725	1,105	987	2,767	1,859	1,614

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) ICE BofA Merrill Lynch米国ハイイールドBB-B格インデックス(円ベース、ヘッジあり)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

**投資環境**

（2019年1月22日～2019年7月22日）

**（米国ハイイールド社債市況）**

期間の前半は、ECB（欧州中央銀行）が長期資金供給オペを再開する方針を示したことや、米国FOMC（連邦公開市場委員会）において、2019年内の金利据え置きやバランスシート縮小停止が示されたことなどから米国国債利回りが低下したことに加え、原油価格の上昇や、堅調な経済指標の発表などがプラス材料となり、米国ハイイールド債券市場は上昇しました。期間の後半は、トランプ米国大統領が対中関税の引き上げを表明したことに対し、中国政府も報復措置として追加関税を発表したことで米中貿易摩擦への懸念が高まったことや、原油価格が下落したことなどによりスプレッドが拡大し、下落する局面も見られました。しかし、6月のFOMCの内容を受けて早期の利下げ観測が強まったことから、米国国債利回りは一段と低下しました。加えて、G20（20カ国・地域）サミットで米中首脳会談が行なわれる見通しとなったことなどを背景にスプレッドが再び縮小したこともプラス材料となり、期間末にかけても、米国ハイイールド債券市場は堅調な推移となりました。結果、期間を通じて見ると、米国ハイイールド債券市場は上昇しました。

セクター別では、保険、銀行、建設などが他のセクターを上回るパフォーマンスとなりました。一方で、エネルギー、百貨店、広告などが他のセクターを下回るパフォーマンスとなりました。

**（国内短期金利市況）**

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.07%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.06%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.20%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.13%近辺で期間末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2019年1月22日～2019年7月22日)

### (当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「PIMCO米国ハイイールド・ファンド (為替ヘッジあり)」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・マーケット・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

### (PIMCO米国ハイイールド・ファンド (為替ヘッジあり))

運用では、外部環境の変化に対する耐性を配慮したセクター選別を継続しました。参入障壁が高くキャッシュフローが安定的なヘルスケアや、米国住宅市場の回復の恩恵を受けやすいと考えられる建設資材などのセクターへの投資比率を多めとしました。一方、資源価格の変動の影響を受けやすいと考えられる資源関連セクターや、中長期的に携帯電話などの無線通信にシェアを奪われることが予想される固定通信セクターへの投資比率を少なめとしました。

外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行ないました。

### (マネー・マーケット・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

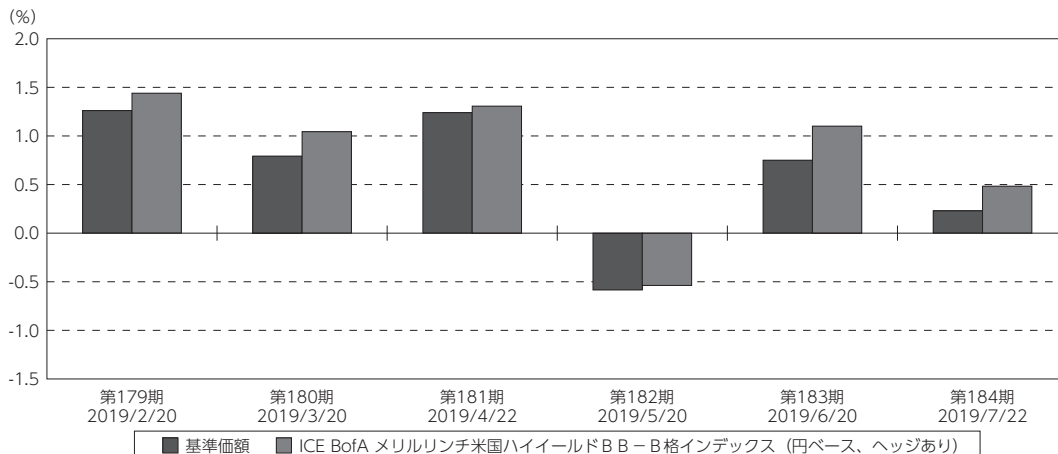
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年1月22日～2019年7月22日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) ICE BofA Merrill Lynch 米国ハイイールド B B - B 格インデックス (円ベース、ヘッジあり) は当ファンドの参考指数です。

## 分配金

（2019年1月22日～2019年7月22日）

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第179期	第180期	第181期	第182期	第183期	第184期
	2019年1月22日～ 2019年2月20日	2019年2月21日～ 2019年3月20日	2019年3月21日～ 2019年4月22日	2019年4月23日～ 2019年5月20日	2019年5月21日～ 2019年6月20日	2019年6月21日～ 2019年7月22日
当期分配金	15	14	14	14	15	14
（対基準価額比率）	0.175%	0.162%	0.160%	0.161%	0.172%	0.160%
当期の収益	15	14	14	13	15	14
当期の収益以外	—	—	—	0	—	—
翌期繰越分配対象額	940	947	958	958	966	968

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

## （当ファンド）

引き続き、「PIMCO米国ハイイールド・ファンド（為替ヘッジあり）」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・マーケット・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

## （PIMCO米国ハイイールド・ファンド（為替ヘッジあり））

米国では景気拡大局面が後半に突入していると考えられるものの、2019年内は引き続き良好な企業業績、雇用環境、賃金上昇を背景に、プラス成長を維持する公算が大きいと予想されます。そのような環境や、米国企業の財務レバレッジ状況が安定的であるなど財務ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は引き続き良好であることなどから、米国ハイイールド債券のデフォルト（債務不履行）率は、低位で推移していくものとみています。また、バンクローン市場の拡大に伴ないハイイールド債券の発行量が減少傾向となっていることなども、需給の観点から同市場の下支え要因になっています。さらに先進国を中心に世界的な低金利環境が続くなか、相対的に高い利回りに対する投資家の需要がある点も、同債券のサポート要因であると考えます。

一方、足元で懸念が広がる米国の保護主義拡大に関しては、その影響を注視する必要はあるものの、内需関連の多い米国ハイイールド企業は業績面と財政面の双方で米国トランプ政権が進める国内景気の刺激策の恩恵を受けることが期待されます。また、大規模な減税や財政支出の拡大は短期的には景気を上振れさせる要因となる一方で、将来的な財政赤字の拡大や、消費者物価の上振れ、利上げペースの加速といったリスクを拡大させる可能性があります。

上述の見通しの下、当戦略はマクロ環境の変化に対する耐性なども配慮しながら業種・銘柄選択を行なう方針です。具体的には、参入障壁が高くキャッシュフローが安定的なヘルスケアや米国住宅市場の回復の恩恵を受けやすいと考えられる建設資材などのセクターへの投資比率を多めとします。一方、資



源価格の変動の影響を受けやすいと考えられる資源関連セクターや中長期的にeコマースによりシェアを奪われることが予想される小売セクターへの投資比率を少なめとします。また、ハイイールド債券の中でも比較的高格付けの債券を中心に分散投資を行なうことでデフォルトリスクを抑え、より安定的な収益の獲得をめざします。

外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行ないます。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

### (マネー・マーケット・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

2019年1月22日から2019年7月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

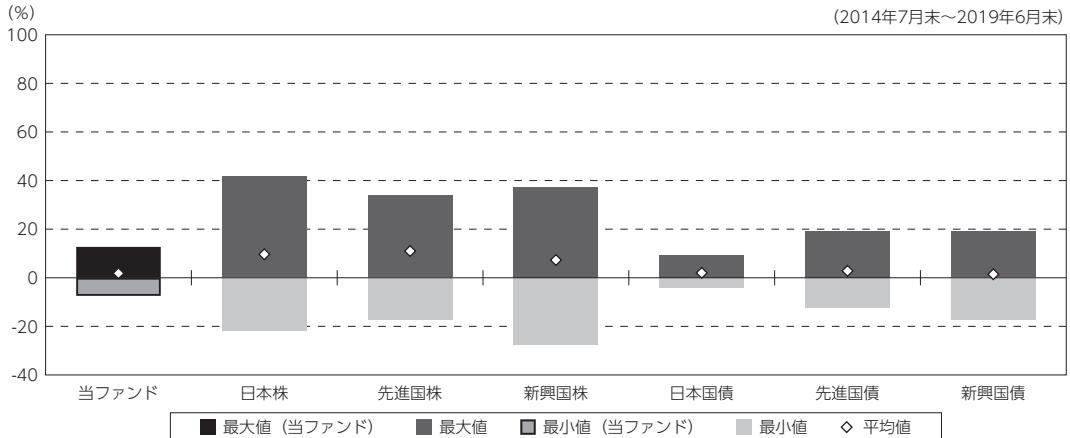
当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年4月20日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第48条の2)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2004年3月10日から原則無期限です。
運用方針	投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「PIMCO米国ハイイールド・ファンド(為替ヘッジあり)」受益証券 「マネー・マーケット・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、主として、米国のハイイールド債に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。主としてB B格～B格相当の米国社債の中から、相対的に魅力的な利回り、高いリターン、信用力の改善が見込まれる社債を中心に投資を行ないます。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	12.7	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 7.4	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	1.8	9.7	11.0	7.3	2.0	2.8	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年7月から2019年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: 東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株: MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●ICE BofA メリルリンチ米国ハイイールドB B - B格インデックス (円ベース、ヘッジあり)

〔ICE BofA メリルリンチ米国ハイイールドB B - B格インデックス〕は、〔ICE Data Services〕が算出する米国の高利回り債券の値動きを示す指数です。同指数の (円ベース、ヘッジあり) とは、現地通貨ベースの指数を対円でヘッジし、円換算したものです。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2019年7月22日現在)

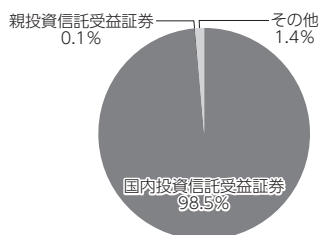
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第184期末
	%
PIMCO米国ハイイールド・ファンド (為替ヘッジあり)	98.5
マネー・マーケット・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

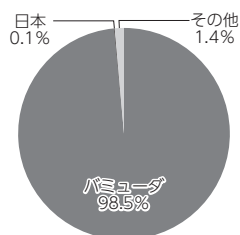
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

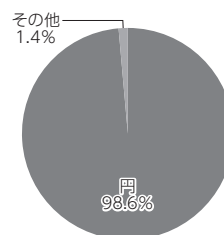
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍 (邦貨建) の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

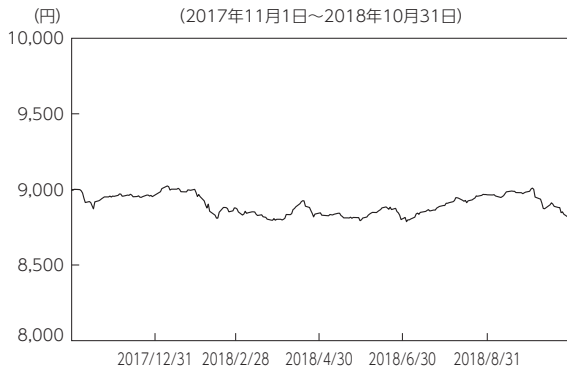
項目	第179期末	第180期末	第181期末	第182期末	第183期末	第184期末
	2019年2月20日	2019年3月20日	2019年4月22日	2019年5月20日	2019年6月20日	2019年7月22日
純資産総額	1,674,311,527円	1,679,824,046円	1,687,287,720円	1,668,582,002円	1,626,561,106円	1,614,518,582円
受益権総口数	1,951,800,445口	1,946,105,094口	1,933,897,958口	1,926,704,304口	1,867,527,456口	1,852,395,396口
1万口当たり基準価額	8,578円	8,632円	8,725円	8,660円	8,710円	8,716円

(注) 当作成期間 (第179期～第184期) 中における追加設定元本額は7,238,580円、同解約元本額は163,077,538円です。

## 組入上位ファンドの概要

### PIMCO米国ハイイールド・ファンド (為替ヘッジあり)

#### 【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

#### 【1万口当たりの費用明細】

(2017年11月1日～2018年10月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

#### 【組入上位10銘柄】

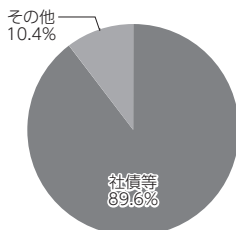
(2018年10月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	比率
				%
1	Credit Agricole S.A. 7.875% due 01/23/2024	社債等	アメリカドル	0.7
2	Ortho-Clinical Diagnostics, Inc. 6.625% due 05/15/2022	社債等	アメリカドル	0.6
3	Sprint Corp. 7.875% due 09/15/2023	社債等	アメリカドル	0.5
4	Virgin Media Finance PLC 5.750% due 01/15/2025	社債等	アメリカドル	0.5
5	Bausch Health Cos., Inc. 5.875% due 05/15/2023	社債等	アメリカドル	0.5
6	Steel Dynamics, Inc. 5.250% due 04/15/2023	社債等	アメリカドル	0.4
7	Altice Luxembourg S.A. 7.750% due 05/15/2022	社債等	アメリカドル	0.4
8	Beacon Roofing Supply, Inc. 4.875% due 11/01/2025	社債等	アメリカドル	0.4
9	Caesars Resort Collection LLC 5.250% due 10/15/2025	社債等	アメリカドル	0.4
10	Univision Communications, Inc. 5.125% due 02/15/2025	社債等	アメリカドル	0.4
組入銘柄数			516銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

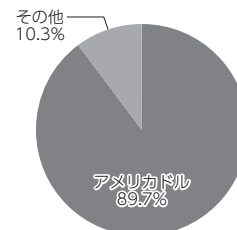
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】

必要な情報が開示されておりません。

#### 【通貨別配分】



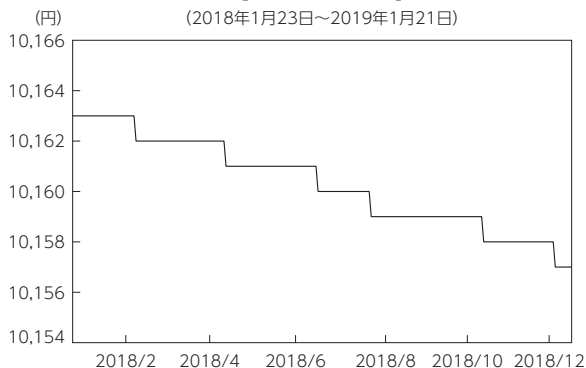
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

※組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、実質的な運用を行なっているPIMCOバミューダ米国ハイイールド・ファンド(M)の情報です。

マネー・マーケット・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年1月23日～2019年1月21日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年1月23日～2019年1月21日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 1 (1)	% 0.007 (0.007)
合 計	1	0.007

期中の平均基準価額は、10,160円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2019年1月21日現在)

2019年1月21日現在、有価証券等の組入れはございません。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。